

平成 27 年 10 月 6 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

NEC キャピタルソリューション株式会社に  
「SMB C サステナビリティ評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、NEC キャピタルソリューション株式会社（代表取締役社長：安中 正弘）に対し、「SMB C サステナビリティ評価融資」を実施致しました。

「SMB C サステナビリティ評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG<sup>1</sup> 側面の情報開示とサステナビリティ<sup>2</sup> への取組みなどを評価し、評価結果に応じた融資条件の設定を行うとともに、取組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の NEC キャピタルソリューション株式会社に対する評価結果は、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」、「社会的課題への対応と企業価値向上」、「事業活動における環境負荷削減の取組（気候変動）」において非常に高い水準であると判断され、サステナビリティに向けた企業経営において、大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されているとの評価になりました。

特に ESG 側面の取組では、2013 年にグループビジョン「お客様と共に、社会価値向上を目指して、グローバルに挑戦するサービス・カンパニー」を策定し、経営トップが事業活動を通じて、高齢化問題や環境問題等の社会的課題解決に取り組む姿勢を明確にしておられる点、ヘルスケア施設特化型投資法人の上場を通じてヘルスケア施設の供給を促進し、高齢社会における社会的課題の解決に取り組んでおられる点、サプライチェーンにおける環境負荷の把握として、リース品の配送に係る CO2 排出量や従業員の通勤・出張等に伴う CO2 排出量などを把握しておられる点等が評価され、情報開示においても良好な開示がなされているとの評価となりました。

なお、NEC キャピタルソリューション株式会社に対する「SMB C サステナビリティ評価融資」の実施は 3 回目となり、前回の評価結果を受け、更なる改善や新たな取組を推進されております。

三井住友銀行では、「SMB C サステナビリティ評価融資」により、企業のサステナビリティへの取組みを、金融を通じて支援してまいります。



「東京証券取引所においてヘルスケア施設特化型投資法人上場」

<ご参考>

#### 1 ESGとは

ESGとは環境(Environmental)、社会(Social)、企業統治(Corporate Governance)の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

#### 2 サステナビリティとは

サステナビリティ(sustainability)とは、「持続可能性」を意味する英語であり、地球社会から企業活動まで、様々な状況において使用される用語です。一般的に、企業のサステナビリティというとき、地球環境や社会の持続的な発展に貢献しつつ、その上で自社が社会に認められ長期的に繁栄するために不可欠な企業の取組を指します。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。